

\*\*\*\*\*



特定非営利活動法人POTA（精神科作業療法協会）就労支援事業部

## 障害者自立支援センターニュースレター

第16号 2009年 10月 発行



\*\*\*\*\*

暖冬とはいえ朝晩と冷え込む日が続きます。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

新型インフルエンザが猛威を振るうなか、感染拡大のニュースが気になる毎日です。運動会や遠足などのイベントが延期や中止になり、予定が立たない方も多いのではないのでしょうか。

子供が小さい我が家では子供をウイルスから守るべく、家族全員で体調管理に乗り出しました。手洗い、うがいの徹底はもちろん、よく食べ、よく寝、よく遊び…と特別なことは何もなく当たり前になることばかり。今までのずさんな生活を見直すよい機会にもなっています。とはいっても、やはり予防接種をきちんと受けて感染から身を守りたいものですね。みなさんも体調管理に気をつけて、これからの寒い冬に備えてください。 (廣瀬)

### 9月相談コーナーの報告

9月の相談コーナーはいつもお世話になっている『樹まぐれ』をお借りして開催されました。恒例の近況報告では、旅行の予定や新たな一歩が踏み出せたという報告、体調の話などのほか「病気への理解の不十分さ」「服薬処方変更について」も発言がありました。

その後、仕事について悩んでいたAさんの話を重点的に取り上げ、皆で意見交換を行いました。Aさんの状況説明から働くにあたっての努力や工夫していたこと、不安やつらかったことなどに対し、他の参加者からも様々な意見が出されました。また数ヶ月前の相談コーナーでも行ったSST（生活技能訓練）も活用し、早速その場でコミュニケーションの練習を行いました。

終了後は、「長時間、皆に話を聞いてもらえてありがたかった」「Aさんの話を通して自分のことも考えることが出来た」などの感想が聞かれました。

今後も必要に応じて1つの話題を取り上げ、皆で考えてみてほしいのではと思いました。(加藤)

## 10月おしゃべりコーナーの報告

相談コーナーを毎月開いて欲しい！という多数のお声を受けて、9月と11月の相談コーナーの合間（10月17日）に『おしゃべりコーナー』としてお馴染みの甘味喫茶『樹まぐれ』に集いました。

～こぢんまりとおしゃべり & これからの活動についての相談～

今回は、参加者が少なく、お店でそのまま話し合い・交流をさせていただきました。いつものように近況報告から始まりましたが、実は、定刻前に「“樹まぐれ”のカレー」が食べたいと早くから足を運んでいる人同士で、すでに様々な近況報告が進んでいました。

作業所に通うようになり、クリスマス会でピアノ演奏をすることになったというKさん、貯めていた預金でオートバイを買ったというYさん。病院・施設では運動会・文化祭・学校祭等、秋のイベントが目白押しで、それらの準備で忙しいという報告やその内容についての紹介などがされました。

自然な形で話しも広がり和やかな中で、今後の相談コーナーについての意見を出し合いました。次回（11月）は、昨年行った「青い鳥」はどうか？ ということで連絡してみることにになりました。年始の1月は、昨年のように「新年会」で、材料を持ち寄り『鍋』をするのはどうか、ということで意見が一致しました。さらに、今後のテーマとして「障害者としてどう生きるか」ということが出され、病気を持っていてもどううまく生活するか？ 先々の自分、今後の人生に対する不安があるという話がされました。そこで「治さなくてもいい」という、パニック障害の人が書いた本の紹介があり、その内容に興味関心が持たれました。また前回、山登りという案が出されていたが、公園でお弁当を食べるなどのピクニックなら参加しても良いとの声があり、3月以降「障害者としてどう生きるか」というテーマやピクニックの企画を考えて行くことになりました。

研修会についての希望や提案も頂きました。今までのように授産施設や就労支援機関ではなく、特例子会社や企業などの一般雇用の場を見学できないか？といった意見も出されたところ、近くにブルーベリー農園があり、障害者雇用をしているという情報に皆が引き付けられました。これらの意見やアイデアを基に調べて計画することになりました。

検討課題についての話し合いが終わったあとも、薬の変更・副作用の実状、友人とのつき合い方などについて自由に話し合い、お互いに話を聞いて貰える場になったようです。（馬場）

## 情報アラカルト

ここでは就労支援および精神保健福祉に関連した情報を紹介しています。

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

### 支援者のための 障がい者アグリ就労支援セミナー

農業分野での就労を希望する障がい者と受入れ農家とを円滑に結ぶための障がい者就労支援プロセスを学ぶことにより、障がい者と農業との”掛け橋”となる人材の育成・確保を願うセミナーです。

実践者の事例を通して、支援者の役割、障がい者に対する支援の方法、農園芸作業における具体的な支援方法を学ぶことを目的としています。中部電力の特例子会社において、障がい者を受け入れ、農園芸作業の具体的な支援を実践しているジョブコーチの講演、浜松市で障がい者を雇用し、水耕でミニチンゲンサイなどを栽培、販売している会社のなかで、現場で支援活動を実践している方の講演、そして参加者のワークショップを通じ、学び合う機会を提供します。(チラシより抜粋)

●日時：平成21年11月28日(土) 13:30～16:30

●会場：埼玉会館 7A会議室

●参加費：2,000円

●プログラム

13:00 受付開始

13:30 開会

13:40 【テーマ】特例子会社における園芸分野でのジョブコーチの役割と実際  
中電ウイング株式会社 ジョブコーチ 足立一洋氏

14:15 【テーマ】農業生産法人(施設野菜)における支援の実際  
京丸園株式会社 市川純子氏

14:50 休憩

15:00 ワークショップ

16:10 まとめ・発表

16:30 終了

主 催：特定非営利活動法人 土と風の舎

後 援：埼玉県社会福祉協議会、特定非営利活動法人 日本園芸福祉普及協会(予定)

●お問合せ・お申し込み：特定非営利活動法人 土と風の舎

TEL:049-248-9485

FAX:049-248-9486

E-mail:tutitokaze@arion.ocn.ne.jp

.....

日々の暮らしの中で、時には生きること疲れ果ててしまうことがあるかもしれません。  
「死にたい」という思いが徐々に大きくなることもあるかもしれません。  
そんな時に助けとなるサイトをご紹介します。

**自殺対策支援センター ライフリンク**  
<http://www.lifelink.or.jp/hp/top.html>

このサイトに「いのちのつながり」というページがあります。  
自分一人では抱えきれないつらい思いを相談することができる団体を紹介しているリンク集です。  
以下のような悩みに応じて紹介されています。

- 今すぐ「助け」が欲しいとき
- 「借金」に困っているとき
- 「労災手続き」について知りたいとき
- 「遺族のつどい」について知りたいとき
- 世界の自殺対策関連組織
- 「いじめ」で困っているとき
- 「職場の悩み」を相談したいとき
- 「うつ病かも」と思ったら
- 行政窓口・統計資料など
- ライフリンクの仲間たち

どこに相談してよいかわからないときは・・・

**日本いのちの電話** <http://www.find-j.jp/>  
すぐ近くの「いのちの電話」の電話番号が分かります。

すぐにでも電話で相談したい場合。

**東京いのちの電話**  
電話： 03-3264-4343  
FAX： 03-3264-8899  
<http://www.inochinodenwa.or.jp/>

そして相談コーナーにもぜひいらしてください。  
つらい思い。悩み。そして希望や目標。  
様々なことを皆で考えていきたいと思えます。

# 11月相談コーナーのお知らせ

11月の相談コーナーは千葉県柏市にある社会福祉法人よつば 大津ヶ丘事業所「青い鳥」での開催を予定しています。昨年7月にお邪魔して以来2回目の訪問となります。「青い鳥」の見学・紹介やみなさんからの近況報告・ご相談など有意義な時間を過ごせたらと思っています。お気軽にご参加ください。

【日時】平成21年11月21日（土）14:00~16:00

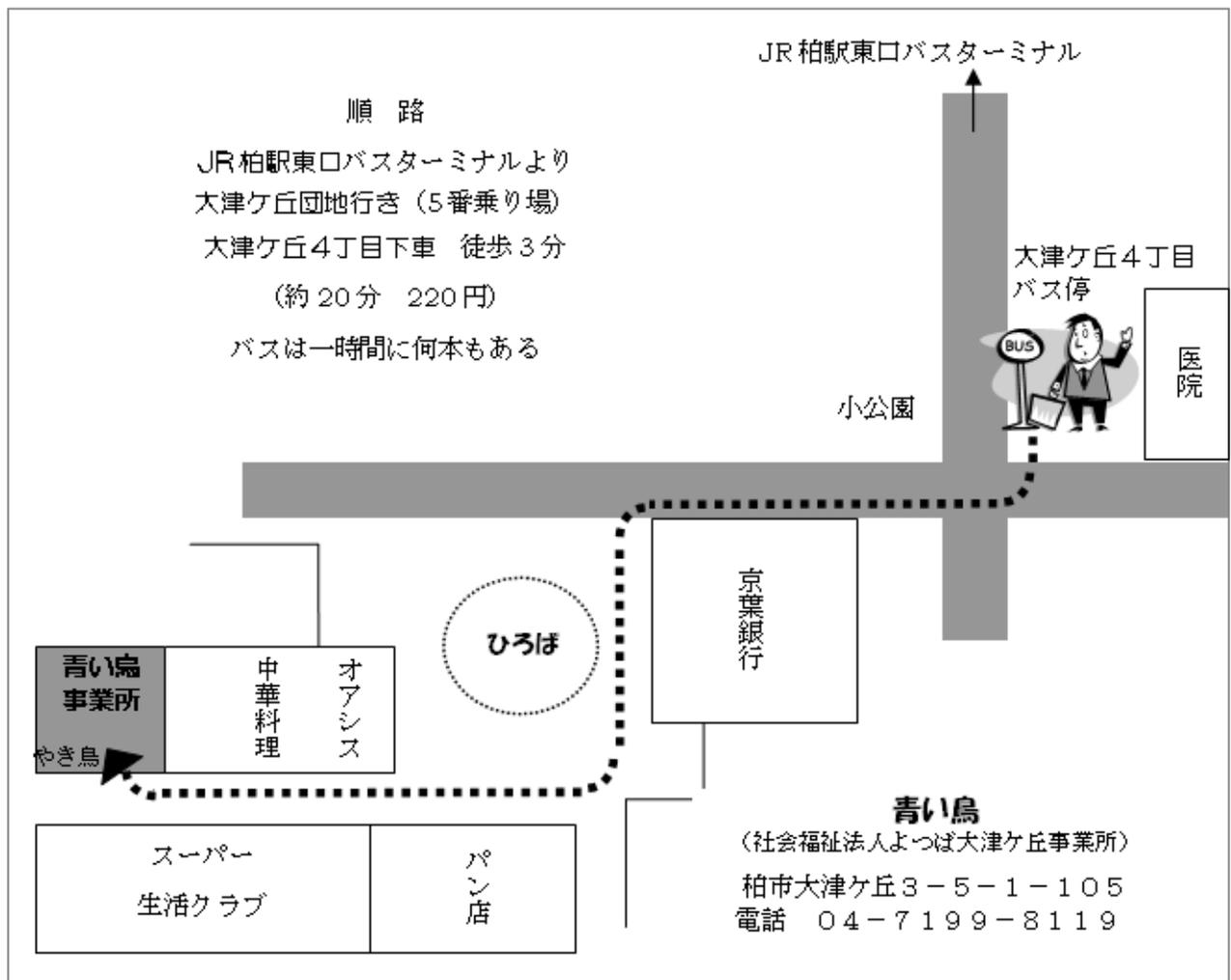
【場所】社会福祉法人よつば 小規模授産施設『青い鳥』

千葉県柏市今谷上町 43-40

【アクセス】JR柏駅東口バスターミナル 5番乗り場より『大津ヶ丘団地行き』に乗車

『大津ヶ丘4丁目』下車 徒歩3分

【地図】



ご意見・ご感想・お問い合わせはこちらへ [pota-shien@hotmail.co.jp](mailto:pota-shien@hotmail.co.jp)

発送元：NPO 法人 POTA (旧：精神科作業療法協会)